

議 長 副 議 長 局 長 次 長 係 長

様式 (第8条関係)

政務活動費に係る収入及び支出の報告書

角田市議会議長 殿

平成28年3月28日

会派名 日本共産党角田市議団

代表者 日下 七郎



角田市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、平成27年度政務活動費に係る収入及び支出について下記のとおり報告します。

記

- 1 収入 政務活動費 60,000 円
- 2 支出

(単位：円)

項目	金額	備考
調査研究費		
研修費		
広報費	59,940	内容別紙
公聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
人件費		
事務所費		
合計	59,940	

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 残 額 60 円

4 経理責任者 八島 定雄



様式第3号（第3条第2項第3号関係）

支 出 伝 票

		整理番号	/		
会 派 名	日本共産党角田市議団				
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 公聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費				
実施年月日	28 年 2月 10日	支出年月日	28年 2月 10日		
支 出 金 額	39,366 円	按 分 率	100 /100	按分後の額	39,366 円
支 出 先	(有)印刷センター				
使 途 内 容	角田市議団ニュース印刷代				
備 考					
領収書添付欄 別紙のとおり					

※領収書は重ならないように添付してください。領収書添付欄が足りない場合は、裏面を使用してください。

支 出 伝 票

	整理番号	<
会 派 名	日本共産党角田市議団	
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 公聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費	
実施年月日	28 年 2月 14日	支出年月日 28年 2月 11 日
支出金額	20,574 円	按分率 100 /100 按分後の額 20,574 円
支 出 先	(有)河北新報角田専売所	
使途内容	河北新報 新聞折込	
備 考		
領収書添付欄 別紙のとおり		

※領収書は重ならないように添付してください。領収書添付欄が足りない場合は、裏面を使用してください。

No. _____

領 収 証

平成28年2月10日

収入印紙

日本共産党 角田市議団 様

金額

百万		千		円
	¥	3	9	3
			6	6

但し角田市議団ニュース印刷料 612
上記金額正に領収致しました。

入金種別

現金	<input checked="" type="checkbox"/>
手形	<input type="checkbox"/>
小切手	<input type="checkbox"/>
相殺	<input type="checkbox"/>
振込	<input type="checkbox"/>

有限会社

印刷センター

〒981-1224 宮城県角田市瑞穂字柳田6-7-6

TEL (0224) 384-1335

FAX (0224) 384-5976

取扱者印



※金額訂正あるもの及び
取扱者印なきものは無効です。

領 収 書

No. 011459

日本共産党 角田市議団 様

428年 2月 11日

金額

¥ 20 574

但 折込手数料 19050 円・消費税 1524 円

上記正に領収いたしました

収入
印紙

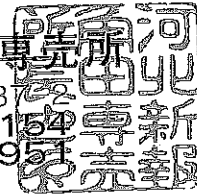
折込日	2/14 入れ
枚数	6350 枚
備考	

(有) 河北新報角田専売所

角田市角田字泉町13

電話 (0224) 63-3154

FAX (0224) 62-0954



日本共産党 角田市議団ニュース

発行
日本共産党
角田市議団
日下七郎議員
八島定雄議員

【連絡先】
角田市旭町
32-15
電話63-3249

市政への
相談事は
日下七郎
八島定雄
までご連絡を
お願いします。

角田市国民健康保険税条例の一部改正(税率引下げ案)可決される

国保税の引き下げ 平成28年度から実施決定

角田市議会第380回定例会は、12月3日に招集され、274、542千円を追加とする平成27年度一般会計補正予算(第5号)など議案13件を全会一致で、角田市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定についてなど2件(日本共産党角田市議団は反対)を賛成多数で可決し、12月22日閉会しました。また、議員提出案件の意見書「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出について」ほか1件は全会一致で可決され、国の関係機関へ提出されました。

改正の内容は、次のとおりです。

一、目的 国民健康保険被保険者の負担軽減を図る

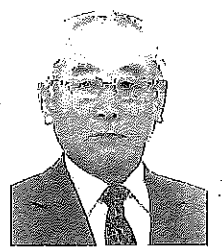
二、改正概要

平均改正率…△20、7%
平均改正額…△36、318円
一世代当年額見込み…139、429円
(平成26年度…175、747円)

賦課方式の変更(資産制の廃止)
税率改正内容

今回の定例会において、議案第77号「角田市国民健康保険税条例の一部改正について」が提案され、審議し全会一致で可決されました。これまで、日本共産党角田市議団は、高すぎる国民健康保険税の引下げを一般質問等で継続して取り上げ、実現してきました。先の定例会で、市長は「国保税を平成28年度から一定程度引き下げる」と答弁してきました。今回の定例会で市長は「税率改正は、国民健康保険税の必要額を年約6億3千万円と見込んで税率を算定。この見込額は、平成26年度国民健康保険税算額の約8億1千万円との比較では、1億8千万円の減額となります。この税率改正により、平成26年決算と比較して、平均改正率は20、7%の減、1世帯当たりの平均改正額は、36、318円の減額となる見込みです。」と報告し、国保税の値下げが、確実となりました。

区分	改正案			現行		
	基礎課税分	後期高齢者支援金等課税分	介護納付金課税分	基礎課税分	後期高齢者支援金等課税分	介護納付金課税分
所得割 (%)	6.9	2.6	3.5	8.4	3.0	2.0
資産割 (%)	廃止	廃止	廃止	24.4	6.6	7.2
均等割 (円)	21,000	8,000	13,000	26,000	9,000	8,000
平等割(特定世帯・特定継続世帯以外の世帯)(円)	16,000	6,000	6,000	20,000	5,000	4,500
"(特定世帯)(円)	8,000	3,000	-	10,000	2,500	-
"(特定継続世帯)(円)	12,000	4,500	-	15,000	3,750	-



日下七郎
TEL 63-2405

12月18日(金)に、日下七郎議員が一般質問に立ちましたので、その概要を紹介いたします。

笠島宇黒荷田地内への排水路の新設工事について

【日下議員】昭和54年開設した林道黒荷田線(公衆用道路敷地)に、排水用の直径800mmのヒューム管が設置されています。しかしながら、林道黒荷田線に排水用ヒューム管が設置されていても、昭和53年10月に作成された国土調査の公園には水路敷地はありませんが、個人所有の地類境界に水路があり、水路に上流の水田、畑、山林、林道黒荷田線の側溝からの雨水等の流れは雨水等ののみ口から地下に流入し、山すそ宅地の地下を流れて水田に隣接する水路に吐き出されています。今年9月8日の台風18号の豪雨には、山肌を流すように雨水が流れ、宅地内の家屋の下を流れたとのことです。そこで、私の前述したことに、林道黒荷田線の管理者として市長の所見を伺います。



排水用の直径800mmのヒューム管

砂質系の石山で、雨水が地表や地中を複雑に流れていることを確認しました。林道黒荷田線にありますが排水用800mmのヒューム管は、当時の林道整備が行われた際、整備する林道が地表を流れる水を阻害しないようにヒューム管を設置したものです。

【日下議員】林道の整備については、林道規程の制定について(昭和48年4月1日付、林野庁長官通知)の林道規程第27条(排水施設)の規程に開ける運用細則によりますと、笠島川までの排水路が必要と願います。

よって、林道黒荷田線の構造に瑕疵(林道規程の要件に欠けている)があると思いますがいかがですか。
【農政課長】あくまでも道路管理に係る側溝及び取水ますの整備であり、林道黒荷田線施工当時において補助事業であることから適切に施工されたものと考えています。

【市長】林道黒荷田線は、昭和54年に地元からの要望を受けて、産業振興の発展に寄与することを目的のために林道として整備しました。上流の水は、敷地内の地下を流れて農業用排水路に流れており、山全体が

【裏面に続く】

やはり、あの現状をどうしていくかということを行先行して考えなければならぬことで、可能な限り対応してまいりたい。

枝野小学校の校庭の排水対策について

排水対策を改善する方向で、

来年度、実施したい

教育長 前向きに回答する

【日下議員】枝野小学校の校庭は暗渠排水施設の施工をした排水の良好な校庭でした。除染後の客土した排水の悪い土砂を搬出し、除染前の排水良好な校庭に回復のための施工を求めます。

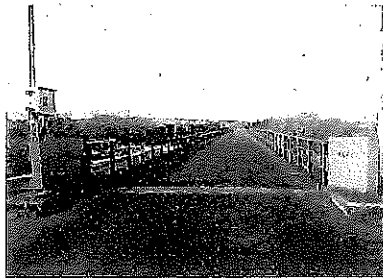
【教育長】枝野小学校の校庭は、除染の対策として行った表土の入れ替えにより排水が悪くなり、雨が降った後などは、なかなか乾かないといった状態を把握しておりまして、除染作業の後には、その都度学校で対応しておりますが、なかなか改善には至っておりません。いつまでもこのような状態にしておくことは問題があると考えておりますので、改善する方向で考えます。

どこまで手直しするか財政的な面もございまして、どのような方法がよいかを検討し、来年度には実施したいと考えております。

枝野橋（市道東町寄井線）の橋りょう補修工事について

【日下議員】現在の枝野橋の中央部も一部が総幅員6、1m、有効幅員5、5m、延長20mのところ、橋長600、1m、有効幅員5、5mの拡幅は可能ですか。

【市長】補修工事がメインです。5、5mにできないものか試算してみたいところ、架設当時から上部工に軽量コンクリートを採用しており、荷重計算が軽量コンクリートで設計されている関係から、現在の4、5mを5、5mにした場合、下部工の橋脚がもたない（耐えられない）という計算結果が出ておりますので、全線にわたる拡幅はできません。少しでも広くできないかを考えまして、地覆を現在の30cm幅から40cm幅に広げることで、高欄の位置を片側10cmずつ外側に移動する予定にして、少しでも市民の方が快適に走行できるように考えてまいります。



急がれる枝野橋の補修工事



八島定雄 TEL 62-5540

12月21日（月）に、八島議員が一般質問に立ちましたので、その概要を紹介いたします。

手代木沼にハスを再び咲かせることについて

【八島議員】現在どのような到達段階ですか。その経過と、今後どのようにしていくのか伺います。

【市長】平成23年から手代木沼側の田んぼ10アールに移植用のハス苗を育成し、代替觀賞用として花を咲かせてきて、その面積を28アールまで拡大しました。苗の移植については、場所や時期を変えたり、水深を調整する等、工夫を凝らしながら、平成25年10月、平成26年5月、平成27年3月と、3度試みましたが、残念ながら定着には至りませんでした。

ハスの再生事業はある程度期限を設定して実施していく時期に来ており、ハス再生事業を中止することも想定していかなければと考えています。農業用ため池という重要な機能とハス再生の事業のバランス、いろいろな水生動物が生息していることを考えながら見極めていきたい。

少人数学級（35人以下）を全ての小・中学校に導入することについて

【八島議員】いじめ防止、学力向上、教師の極端な多忙化解消対策など、様々な効果の期待できる少人数学級を全ての小・中学校で実施していくべきと考えますが、市長の考えを伺います。

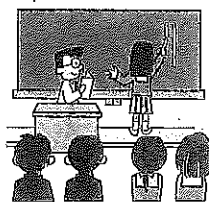
【市長】教員の加配制度の活用、教育補助者、学び支援員、学校図書館支援員、スクール・カウンセラーなど、そういった施策を総動員しながらやっていくことが大事だろうと思っております。予算がないからできないと捉えられ、市長は教育に対する熱意がないんじゃないかと思われませんが、教育長の話のように、少人数学級、30人学級にして教員一人でもかまやることよりは、教育補助者、学び支援員をどんどん35人学級、40人学級で活用していったほうが効果が上がるといふ現場の話であれば、それを優先して考えていきたい。



ハスの再生待たれる手代木沼

【八島議員のコメント】

教育補助者、学び支援員などを採用してやることは当然であります。さらに、角田市独自に専門の教員を採用していけば、いじめ防止、学力向上などにさらなる効果が期待できます。引き続き、少人数学級の実現に向けて努力してまいります。



東日本大震災被災者に対する医療費・介護の一部負担金（利用料金負担）の免除継続について

【八島議員】沿岸部の市町を含めて、やるといふ動きになれば継続もやぶさかではないと考えていいのですか。

【市長】沿岸部、まだまだ復興途上だということもあって、大分生活の実態のまだ改善していないという状況にある中で、やはり沿岸部の自治体のほうで支援を続けたいという熱い思いがあるでしょうから、角田市だけを見ればそんなに大金の免除額ではございませんし、何とかしている方を救済していきたいという思いもありますから、皆さんの意見に従いながら進めてまいります。

計 帳 簿

27 年度 会派名日本共産党国市議員 会 簿

(単位：円)

月日	整理番号	使途内容	収入額	支払額	残額	項 目												
						調査研究費	研修費	広報費	公聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費			
10 30			60,000	0	60,000													
2 10	1	国市議員 収入印紙		39,366	20,634			39,366										
2 11	2	新聞折込		20,574	60			20,574										
3 28		返還		60	0													